

# みんなのスペース

## ◆宛て先・問い合わせ

〒028-1392(住所不要)山田町  
役場総務課文書・広報係(☎82-  
3111内線416/メール:info@tow  
n.yamada.iwate.jp)へどうぞ。

## やまだ文芸広場

ハナに垂んとするわが命

もめん豆腐を愛でて生きさぬ

内館 洋一

夕されば

フクロウの声に聴き入れれば

月はうるうるると麗しき時

⑤

こはちゃんを好きだけど

まさ君は二番目だよって

四歳の恋

いっちゃん

「山里の草野」

しろつめ草たんぽぽ

いたどりなど

露に濡れ

朝の香放つ

小林 りつ子

## 「私の感トレ」

高齢になると、何を考えるともなく、もの心ついたころを思いだして、あんな事こんな事を、涙あり、笑いありで暮らしている。

子どもの頃から早起きだったの  
で、いまでも「えんえん」と、育つ  
頃は囲炉裏生活だった。

かぎ棒には、鉄びんが「しんしん  
ん」とわいていて温もりがあった。

母親は、たき火「づる」の周りを  
深めに振り、「ジャガイモ」を並べ  
て灰を平らに、今でいう蒸し焼き  
かな、ころを見てジャガイモを取  
り出し、炉端でこげめのついた皮  
を取りながら「ほくほく」のジャガ  
イモを炉端で食べた。心も「ほくほ  
く」の子どもの頃、懐かしいなあ。  
おやつは「ジャガイモ」でも、子  
を思う母の温もりに涙・・・あり  
がとう。

母親として子どもの心がありが  
とうの心を残せたかな？

菊地 サカエ

## 町長室から

樹々の緑が目に入り、その香りが体に染み入る季節の到来だ。6月上旬からの白山神社例大祭に始まり7月にはお不動様と荒神社のお祭り、そしてお盆を迎え、秋の風を感じるころには山田祭りと続き、町が一番心地よく活気づく季節を迎える。小学4年生の頃だったと思うがお不動様での出来事を今でも時々思い出す。祭りが開かれるその日は、大変な人を出で店も驚くほどの賑わいがある。扱っていた。その中で私が興味を持ったものがガマの油売りである。羽織はかま姿の人が口上を述べ日本刀を振りかざし半紙を切り空中に放り出すとひらひらと舞い落ちる。次に自らの腕に刃を当て鮮やかな血が噴き出るが、ガマの油をひと塗りすると不思議と傷口がなくなるのである。これは素晴らしい薬だと二つ買い親父にただただ怒られたことを思い出す。ガマの油は私にとつていい薬になった。

山田町長 佐藤 信逸